

上野耕平さんと共演する佐和高校吹奏楽部＝ひたちなか市青葉町



サクソフォン奏者と共演

佐和高吹奏楽部が演奏会 ひたちなか

県立佐和高校吹奏楽部の第30回記念定期演奏会が5月29日、ひたちなか市青葉町の市文化会館大ホールで開かれ、

目まぐるしくテンポの変化する協奏曲を演奏。音域の素晴らしい超絶技巧で、客席を魅了した。

第1ステージの3曲目で、東海村出身で世界的に注目される若手サクソフォン奏者の上野耕平さんが共演、J・マッキー作曲の難曲「ソプラノサクソフォンと吹奏楽のための協奏曲」を演奏した。高校生が難しい同曲を演奏するのは全国初の試み。大ホールは部員の父母や音楽ファンで満員の盛況ぶりだった。

定演は3部構成。第2部はOB吹奏楽団の演奏。第3部は同吹奏楽部伝統の音楽劇を披露した。

上野耕平さんにとって会場の大ホールは、音楽を始めた小学生時代に初めて立った本格的な舞台で、いわば上野さんの原点。笑顔で登場した上野さんが高校生を引っ張り、激しく

上野さんは1992年東海村生まれ。8歳で吹奏楽部でサクソフォンを始めた。東京芸大器楽科入学。第28回日本打楽器コンクールのサクソフォン部門で史上最年少で第1位および特別賞を受賞。2014年11月、ベルギー・ディナンでの第6回アドルフ・サックスコンクールで第2位。世界的に注目される若手奏者だ。

が高校生を引っ張り、激しく

(萩庭健司)